

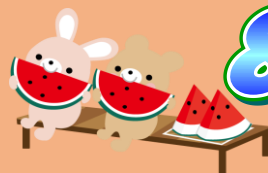
生涯学習情報紙

発行：大和村教育委員会事務局・中央公民館

第368号

2024

8月



第65回大島地区大会

第65回大島地区大会が、7月12日（金）から始まりました。大和村でも13日（土）から14日（日）にかけて、フォレストボリスでラグビー競技、大和村民プールで水泳競技が行われました。それぞれの競技において、各地区の代表として頑張る選手の姿が見られました。参加された選手の皆さん、感動をありがとうございました。

大和村の競技結果についてお知らせします。

ラグビー：優勝（大会三連覇！）

男子カヌー：優勝（大会三連覇！）

バドミントン女子：2位

水泳競技（男女総合・女子総合）：3位



優勝したラグビーチームと男子カヌーチーム



8月は、
人権同和問題啓発
強調月間です。

一人ひとりが人権のための行動を。

鹿兒島県 人権啓発推進課

8月は「人権同和問題啓発強調月間」です。「人権」という言葉に、あなたはどんなイメージを持っていますか。「人権」は、すべての人間が生まれながらに持っている、人間が人間らしく生きていくための、誰からも侵されない基本的な権利であり、また、個人として尊重され、安全で安心して生活を送るために欠くことのできない権利です。誰一人取り残さない、認め合い、支え合う「共生社会」を実現するために、私たち一人ひとりが、人権を「我が事」として考え、人権問題の解決に向けた行動を取ることが大切です。この機会に、あなたの身近なことから人権について考え、そして行動しましょう。



昭二兄の四方山話 （よもやまばなし）

聖地（嶺山）

前方に雄大な東シナ海を望みトカラの島々を見ることが出来る嶺山公園です。平成4年に完成した公園の頂上には、巨大な石碑が鎮座しています。石碑には、当時の濱崎嶺豊村長直筆で「祈 平和」の文字が書かれています。この石碑を見るたびに思うことがどのようにして頂上まで上げたのかということです。長さ3m80cm幅は1m50cmの細長い巨石は、今里山中から運び出され実現したそうです。当時の話を聞くと困難な仕事であったと伝わっています。石碑の裏には、嶺山の歴史が次のように書かれています。原文のまま紹介、文治元年（1185年）壇之浦での源平合戦で敗走した平家一族（平 有盛）は、名瀬市浦上に本陣を張り源氏の追討を恐れこの嶺山頂上に見張り番所を設け海上の警戒と監視に当たさせた処と伝えられている。明治になって村民で本土に出稼ぎに行ったその留守家族等は、この跡地に名札を立て線香を上げ酒、ダンゴを供えて毎年出稼ぎ者の家内安全を祈願していた。大東亜戦争中は大島本島の各市町村から多数の出征将兵の家族等が毎月きて兵士の武運長久を祈願していた聖地である。平成四年三月

この嶺山公園整備事業が始まる前嶺山の歴史や言い伝えを役場の先輩から聞き平成元年に教育委員会で調査したことがあります。頂上には酒トックリや酒杯などが多く散乱しており回収した思い出があります。また、出征兵士家族が嶺山へ登り祈願する日は、暦の「十二支寅」の日と決まっていたという話も聞きました。寅は千里行って千里戻るという故事からきているそうです。自らが戦争体験者であった濱崎村長はこの嶺山の歴史、戦争中における家族の想いなどが強く心に残っており石碑の「祈 平和」は、自分自身の誠の気持ちを表しているものと感じました。平和のありがたさがしみじみと伝わる石碑です。

